

マナバでの出欠管理のやりかた

マナバでの出欠管理のやりかたには大きく2通りあります

[1] マナバ上で出欠管理する方法

[2] 専用スマホアプリのレスポ(respon)で出欠管理する方法

初回の授業では学生のスマホにアプリ(respon)がインストールされていないので、[1]のやり方を推奨します。2回目の授業までに別途配布した資料により、アプリ(respon)のインストールを済ませておくよう指示するといでしょう。

[1] マナバ上で出欠管理する方法

準備するものは教員はカードの発行とインターネットに接続できる機器(PC、タブレット、スマホ)です。

学生はマナバのログインに必要な鹿児島大学IDとスマホです。

① カードの発行方法



カードの発行は授業開始前までに済ませておきます。マナバにログインし、出席カードを作成したい科目をクリックします。



「発行」をクリック



カード発行画面で「出席のみ」「クリッカー」「アンケート」のうちいずれかを選択します。

出欠を取ると同時に授業の感想も取りたいなどの場合は、「アンケート」を選択すると良いでしょう。

その後、ラベル、実施予定日を入力します。入力後は「発行」をクリックします。

マナバでの出欠管理のやりかた



「アンケート」設定した場合は、質問内容を設定します。

プレビューで学生のスマホに表示されるイメージを見ることができます。

よければ「発行」をクリックします。



9桁の番号を控えて、教室に向かいます。マナバのプロフィール設定で、よく使うメールアドレスを登録しておく、発行した番号を登録済みのメールアドレス宛に送信してくれるので便利です。



カードを発行したらカード一覧に発行状況が記録されます。

この画面は後ほど使います。

マナバでの出欠管理のやりかた

② 学生側の操作

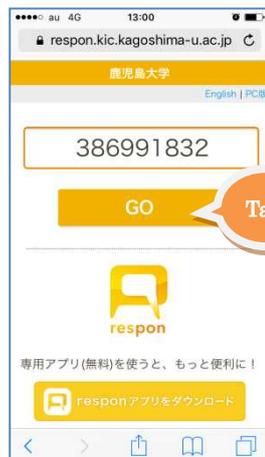


左のログイン画面から鹿児島大学 ID を入力して manaba にログインするよう指示します。

<https://manaba.kic.kagoshima-u.ac.jp/s/login>



画面がスマートフォン版表示の場合は「出席」をタップします
画面が PC 版表示の場合は「respon」をタップします



教員は事前に発行したカード番号（9桁の番号）を黒板に板書するか、口頭で学生に伝えま
す。学生はカード番号を入力し「GO」をタップします。



カードが「アンケート」タイプの場合は、質問内容に答えるよう指示します。学生は入力後「確認」をタップします。
提出日時の確認画面が表示されたら、学生側の操作は終わりです。

manaでの出欠管理のやりかた

③ 学生側のカード提出後の教員側の操作



教員のmanaの画面にある「カード一覧」をクリックすると「受付中のカード」の画面になります。

「LIVE画面」をクリックすると、下図のようにリアルタイムに提出状況を見ることができます。

カード提出の受付を終わらせる（出欠確認の終了）場合は「受付終了」をクリックします。



受付終了の確認画面になります。「OK」をクリックします。

これ以降、学生のカード提出は出来なくなります。

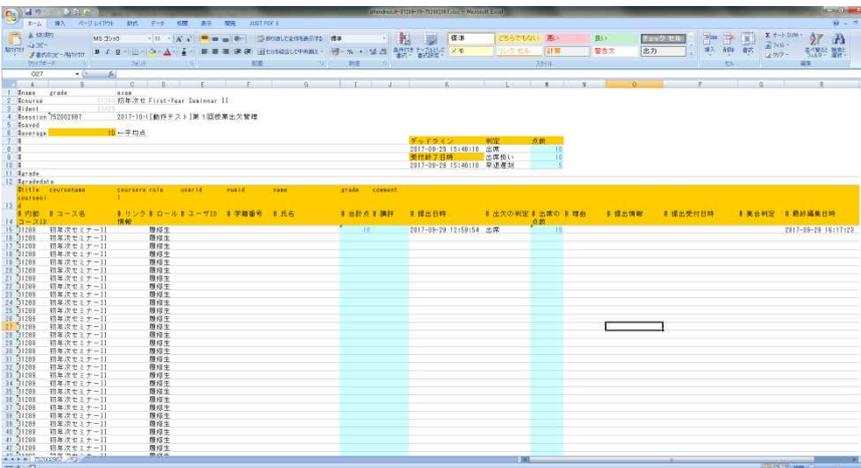
manaバでの出欠管理のやりかた



受付終了の画面にある「ダウンロード」をクリックするとエクセルでのデータ出力が可能です。

「総合出席表」は複数のカード情報をまとめて出力します。

必要に応じて使い分けて下さい。



[1] manaバ上で出欠管理する方法の説明を終わります。

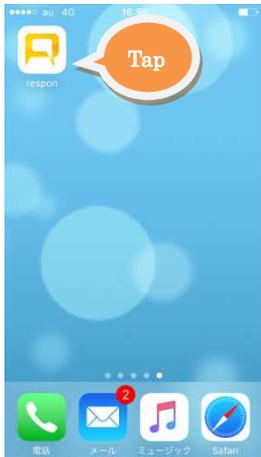
詳細な利用方法については、respon マニュアルもご一読ください。

マナパでの出欠管理のやりかた

[2] 専用スマホアプリのレスポンス(respon)で出欠管理する方法

学生には **manaba** 学生用マニュアル（簡易版）を配布します。このマニュアルの末尾にレスポンスのインストール方法が記載してありますので、次の授業までにインストールしておくようご指示下さい。

アプリがインストール済みだと、②学生側の操作が下記のとおりとなります。



「respon」のアイコンをタップ



すぐにカード番号（9桁の番号）が入力でき、授業中スムーズに出欠確認やアンケート、クリッカーの利用ができます。

「お知らせ」では、学生が履修登録している授業のカード発行状況がわかります。

「ログ」では、過去のカード提出状況がわかります。また、カード提出時に通信状態が悪く仮提出となった場合でも、通信状態が良い場所で「ログ」から本提出が可能となります。

respon アプリではスマホの位置情報を集合判定して、教室内からのカード提出であったか判定します。しかし、教員は経緯・緯度の詳細情報は入手出来ない仕組みとなっています。また、スマホの機種によっては位置情報にズレを生じるものもありますので、位置判定が F 判定となる学生には直接点呼をとるなど、適宜確認をお願いします。詳細は respon マニュアルも参照して下さい。